

堀内元 Gen Horiuchi

東京都出身。父・堀内完を父とし、7歳から踊り始める。

1980年に日本人として初めてローザンヌ国際バレエコンクールでスカラシップ賞を受賞、スクール・オブ・アメリカン・バレエに留学する。1982年、巨匠ジョージ・バランシンに認められ、ニューヨーク・シティ・バレエ団にアジア人として初めて入団を許可され、その後、アジア人初のプリンシパルに昇格。バランシンの愛弟子として数々のレパートリーを踊る。

また、ブロードウェイミュージカルにも進出、『Cats』では、ブロードウェイ、ウエストエンド、東京と3都市に出演。

1998年の長野オリンピックでは、開会式の振付を手掛ける。2000年にアメリカ、セントレイスバレエの芸術監督に就任。アメリカで芸術監督に就いた日本人は初。ローザンヌ国際バレエコンクールでは、過去5回審査員を務めている。

2010年より毎年夏に、兵庫県立芸術文化センターにおいて「堀内元バレエ USA」シリーズを上演、振付作品を発表し、平成26年度（第65回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞（『堀内元バレエ USA V』）。

2015年からは「Ballet for the Future」を立ち上げ、東京をはじめ、大阪、金沢、新潟、札幌で上演。成功を収める。

2021年、ダンサーの未来への扉を開くための「BALLET FUTURE」プロジェクトを発足。

